

「鋤」保存修復業務 仕様書

1 概要

琵琶湖疏水記念館の収蔵品である鋤について、取手のホゾ部分をはじめ、各所に虫害による損傷が発生している状態となっている。また、鋤先の金属部分において全体に錆が生じている。

本業務は、貴重な資料である鋤を今後も琵琶湖疏水記念館の収蔵庫で保存し、将来に残していくために、保存修復を行うものである。

2 保存修復対象

鋤 1点

3 業務内容

鋤の寸法や状態について別紙を参照のうえ、以下の業務を行うこと。

(1) 運搬

- ・ 鋤及び木箱の搬入出は受託者が行うこと。

(2) 修復前の調査

- ・ 修復前の状態について、調査及び写真撮影による記録を行うこと。

(3) 木部のクリーニング・修復

- ・ 資料表面に付着した埃や汚れを、刷毛やブラシ等を用いて取り払うほか、イオン交換水で水拭きを行い、除去すること。
- ・ 虫害による脆弱化部分や空洞か所等について、エポキシ樹脂系接着剤に可塑剤を混合したもの又はエポキシ樹脂系充填剤を補填し、必要に応じて整形及び強化を行うこと。
- ・ 虫害により、柄に取り付けられない状態となっている取手部分は、補填・強化後、柄に取り付けること。
- ・ 補填か所は整形後、アクリル樹脂絵具で彩色を行うこと。
- ・ 虫害による小規模な空洞部分等に関しては、当局と協議のうえ、エポキシ樹脂系接着剤に可塑剤を混合したもの又はエポキシ樹脂系充填剤を補填すること。

(4) 金属のクリーニング・防錆

- ・ 不要な鉄錆を、ブラッシング等で取り除くこと。
- ・ 鋤先の形状を変化させている錆については、シアノアクリレート接着剤で接着養生後、クリーニング作業を行うこと。
- ・ 空気との遮断層を形成させるために、アクリル樹脂を3回塗布し、コーティングすること。
- ・ アクリル樹脂塗布の3回目は、艶による違和感を除くため、艶消し剤を混合したものとする。
- ・ アクリル樹脂の塗膜欠陥を防ぐため、表面張力の少ない防錆剤を塗布すること。

4 履行期限

令和8年3月13日（金）

5 履行場所

琵琶湖疏水記念館

6 支払方法

完了後一括払い

7 提出物

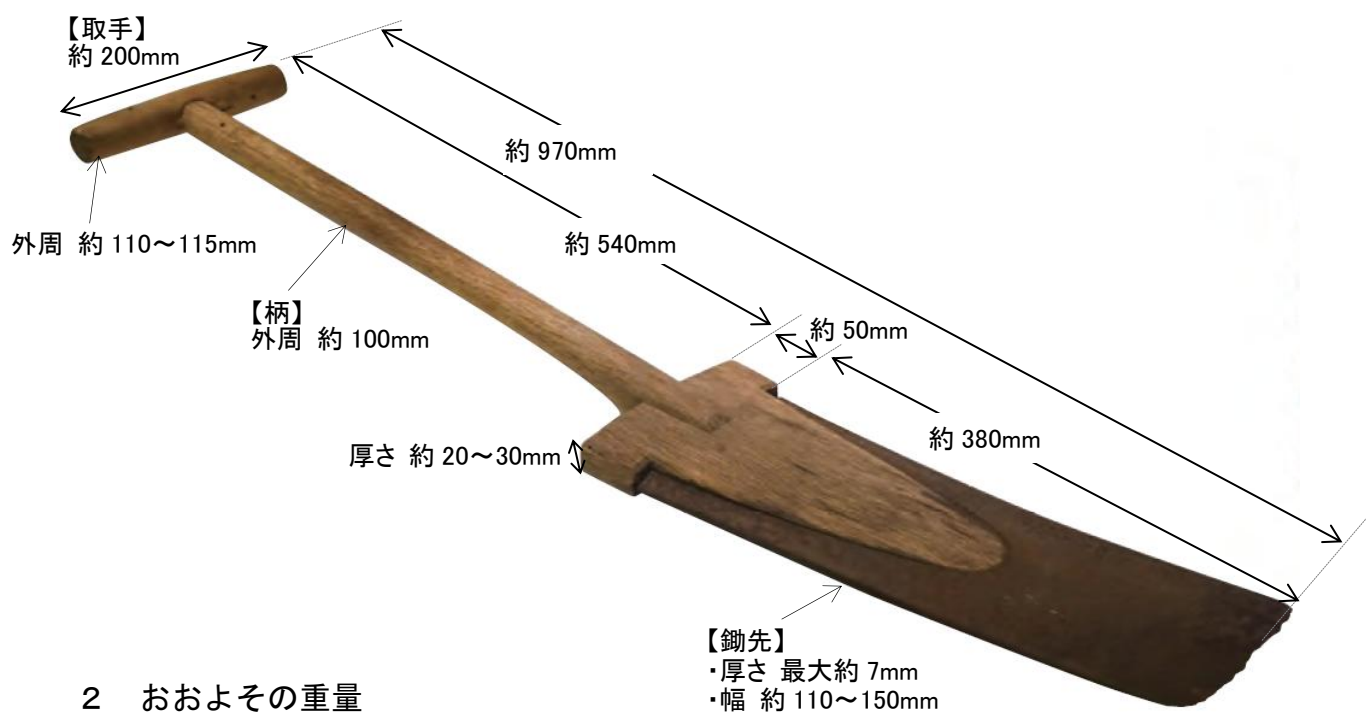
- (1) 完了届、請求書各 1 部
- (2) 作業写真 1 式
- (3) 保存修復に使用した材料、修復方法、修復内容等を明記した作業結果報告書
- (4) その他、当局が指定するもの

7 その他

- (1) 本業務の実施に当たり、修復か所及び実施手法等、当局と十分に協議を行うこと。
- (2) 鋤は代替品がない収蔵品であることを理解し、現物の劣化が著しく進むことや、毀損することがないように、十分注意すること。
- (3) 万一、現物を毀損した場合は、当局職員と調整のうえ復元すること。
- (4) 受託者は、履行期限内に円滑に業務が進められるよう、十分な体制で臨むこと。
- (5) 本仕様書に記載のない事項及び内容に疑義を生じた事項については、受託者と当局が協議して定めるものとする。

(別紙)

1 おおよその寸法



2 おおよその重量

約 2,200g

3 柄の部分



(参考) 収納木箱のサイズ 縦：約 330mm、横：約 1,150mm、高さ約 170mm

